

単元名 「個人の尊重と日本国憲法」

～これからも平和を守っていくためには、どうしたらいいのだろうか？～
公民的分野 C 私たちと政治 (1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則

1 単元の目標

- ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め法の意義を理解する。
- ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。
- ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解する。
- ・我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われることの意義について多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。
- ・平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な「見方・考え方」を働かせながら、学習課題に取り組むことができる。

2 単元の評価規準


知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。	<ul style="list-style-type: none">・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	<ul style="list-style-type: none">・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

3 単元について

本時の学習単元である「個人の尊重と日本国憲法」並びに「私たちの平和主義」の学習は、次代を担う中学生にとって極めて重要な学習テーマである。これらのテーマについて答えを出すことが本単元での目標ではない。しかし、近い将来これらのテーマに関連して、国政選挙での投票や憲法改正の国民投票を通して、生徒一人ひとりが「国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者」として判断を迫られる日が来るかもしれない。その際、日本が追求すべき「平和主義」について考え、有権者として判断し、行動できるようにすることが「公民的資質を養う」ことに繋がると考え、本単元の授業を展開した。

生徒は「日本国憲法は大切なもの」だと思っている。しかし、「大切なものだけど、身近な生活にどう関わっている？」という質問には誰も答えることが出来なかった。そこで、日本国憲法が私たちの生活にどのように関わっているのか、単元を通して習得できるようにしたいと考えた。

4 指導と評価の計画

次	ねらい・学習活動等	評価の観点			評価規準（評価方法）
		知	思	態	
第3次 3時間	【第三次の問い】 人々の平和への願いは、日本国憲法にどのように生かされるべきなのか。  ポイント1				
	10 日本の平和主義 ・生徒の持つ平和観を確認する。 （平和だと思うときをカードに記入する） ・日本国憲法が示している平和主義について、理解する。 ・日本の平和主義を他国と比較し、特徴をまとめる。	●	●		●憲法条文から、日本の平和主義の特徴を整理している。（ワークシート） ●他国の憲法の日本の憲法を比較し、日本の平和主義の特徴をまとめている。（ワークシート・学びの地図）
	11 日本の平和と防衛の課題 ・日本が置かれている状況について、日米安全保障条約や沖縄の基地問題を踏まえて理解する。	○			○日米安全保障条約，集団的自衛権，沖縄の基地問題について理解している。（ワークシート）
	12 平和主義のこれから 【本時】 ・現代社会の政治的課題に意欲的に取り組み、社会的見方・考え方を働かせ課題解決に取り組もうとしている。 ・これからの日本の平和の在り方を、日本国憲法ができた経緯や国際情勢と照らし合わせて、社会科的な見方・考え方を働かせて意見をまとめている。		●	●	●自分の平和主義との向き合い方を、意欲的に考えようとしている。（観察・ワークシート） ●これからの日本の平和の在り方を、日本国憲法誕生の経緯や国際情勢をふまえて考えている。（学びの地図）

ポイント2



ポイント3

5 本時の展開

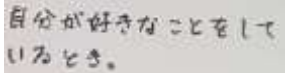
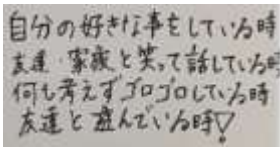
(1) 本時の目標


- ・これからの日本の平和主義はどうあるべきか、様々な意見に疑問を抱くことで、社会的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察している。
- ・現代社会の政治的課題に意欲的に取り組み、自分なりの見方・考え方で課題解決を図ろうとしている。

(2) 本時の展開

○「評定に用いる評価」

●「学習改善につなげる評価」

	主な学習活動等	指導上の留意点・ 評価規準（評価方法）
導入 10分	1 質問ゲーム ・1分間でグループの仲間の持ち物についてたくさん質問をする。 「どこで売られていたのですか？」 「なぜ赤色なのですか？」 2 生徒一人ひとりの「平和観」を共有する。 「平和だなと感じるのはどんなとき？」  	・くだらない質問をたくさん挙げれば挙げただけ良い！と雰囲気を盛り上げる。 ・本時では、インタビューすることを大切にすると伝える。 ・インタビューを通して相
	3 「平和観」についてのインタビューをする	

	<p>・インタビューを通して気づいたことを共有する 「より詳しい話を聞くことが出来た」 「質問するのが難しかった」「相手の平和を大切に感じた」</p> <p>4 平和が崩れる瞬間を疑似体験する。お互いの平和カードを破くという指示を受ける。 「え…」 「嫌だ」 「やめて」 「紙なのに辛い」 「想像したくない」</p> <p>5 なぜ、私たちは平和な生活を送ることができているのだろうか？ ・戦争をしていないから ・憲法9条があるから</p>	<p>手の平和観への理解が深まったことを確認する。</p> <p>・実際に破かないタイミングで止める。しかし、一度大切なものを失うという想像をさせる。</p> <p>・複雑な気持ちになる生徒もいると考えられるので、気持ちを共有する時間を設ける。</p>
<p>めあて:これからも平和を守っていくためには、どうしたらいいだろう?憲法を視点に考えよう。</p>		
<p>展開1 10分</p>	<p>6 新聞を読み取る</p> <p>・憲法9条改正に賛成している首長が、反対している首長より多いことを知る。 ・世論は改正に賛成している人の割合よりも、反対している人の割合が多いことを知る。</p> <p>7 憲法9条の護憲派、改憲派それぞれの理由がわかる資料を提示し、意見を整理する。 インタビューしたいと思ったことをメモする。</p> <p>【護憲派へのインタビュー】</p> <p>・軍事力なく、本当に日本を守れるのですか？ ・自衛隊を憲法に載せるだけで、今と何が変わるのですか？</p> <p>【改憲派へのインタビュー】</p> <p>・海を守るために何をしていますか？ ・どのような方法で威厳をアピールしていますか？ ・本当に外交問題の解決に繋がるのですか？</p>	<p>・首長と世論と意見が異なるのはなぜか、興味をもたせる。</p>
<p>展開2 20分</p>	<p>8 平和主義について考え、発表する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>発問1:なぜ平和主義は誕生したのだろうか？</p> <p>質問1 二度と悲惨な戦争を繰り返さないため、国民を守るため。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問2:私たちは何を一番に大切にしたいか、この課題に向き合わなくてはならないのだろうか？</p> <p>質問2 どうしたら平和な生活がずっと続くのか。 何が国・人にとって良い判断なのか。 戦争という悪いものがあったことをおぼろげに。 今の暮らしでこれから幸福に生きていくのか。 政治の動きは今のままでいいのか。</p> </div>	<p>●これからの日本の平和の在り方を、日本国憲法誕生の経緯や国際情勢をふまえて考えている。(観察・ワークシート)</p> 

ま と め 5 分	<p>9 本時の学習を振り返り</p> <p>これからも平和を守っていくためにどうしたらいいだろう。自分の考えを学びの地図に記入する。</p> <p><i>平和というところの大切さを人間に</i> <i>平和が? どうしたら国民にとって</i></p> <p><i>関り私たちがはたにやでさねのが</i> <i>平和が? これはいつの時代でもずっと</i></p> <p><i>どうことを考えていけるかが大切</i> <i>そいつがなければいけないと思う。</i></p>	<p>●自分の平和主義との向き合い方や、知らなければいけないことは何かを意欲的に考えようとしている。(学びの地図)</p>
---------------------------	--	---

ポイント 3

6 指導と評価の一体化に向けて (授業改善のポイント)

生徒の1時間のまとめをチェックすることで、生徒の誤った認識に気づき、次の時間にすぐに修正をすることができた。また、授業の構成によって、子どもが重要だと思ったことと、こちらが伝えたいと思ったことが異なることがあったので「指導に生かす評価」として用いることができた。

学びの地図 日本国憲法は、私たちの生活にどのように関わっているのか? 3年

【学習前の答え】
日本国憲法があるおかげで日本で戦争は起らない。戦後がある。→平和(な)である(か)は不明。
法経と憲法のちがいは? 憲法は、原則に1つなのか?

【学習後の答え】
人間らしく生きる権利や戦争をしないようにすることなど、平和で最低限度の生活を営むことができている。自由が与えられていたり、差別がなくなるようになっていたり、天皇陛下で物事を決めるなど、憲法があるからこゝろ、いろいろなことが保障されていて、暮らしやすくなっていると思った。

「学習前」に疑問点などを挙げておくと、「学習後」に答えられるようになっている生徒が多い。その変化に自分で気付くことが、今後の学習意欲に繋がっていく。

<p>【平和主義】</p> <p>1 平和主義の特徴は?</p> <p>他の国は、経済的・文化的な競争がある。平和主義は、平和で暮らすこと。</p>	<p>【本的人権の尊重】</p> <p>自由で生きる権利とは</p> <p>他の国は、経済的・文化的な競争がある。平和主義は、平和で暮らすこと。</p>
---	---

単元を貫く問いに対する「学習前」と「学習後」の変化を見取り、評価をする。

学習者の理解が曖昧なところ、認識を間違えているところをチェックして、指導者の授業改善に繋げる。

「これからの自分に生かしたい考え」を単元ごとまとめる。

7 まとめ

憲法9条の護憲・改憲に注目して、自分なりの立場で考え方を示すことも大切である。しかし、その前段階として、平和主義の理念や誕生した背景を押さえるなど、物事の原点を押さえることの大切さを生徒は感じる事ができた。

また、本時で評価を出すのではなく、第4次まで学習した上でまとめの1時間を設定し、単元全体を振り返る時間を設けた。「自分の好きな憲法の条文が見付かった」「あんなに遠いと感じていた憲法が、これほど私たちの生活に関わっていたと、世の中の仕組みを知ることができた」というように、学ぶことの意義を感じた生徒が多かった。

単元の最後に「これからの自分に生かしたい考え」をまとめる時間を設けた。これを単元ごと積み重ねていくことで、学習が修了する頃に社会的見方の備わった公民を育成したいと考えている。